

【学校管理職向け勉強会】学校法務の基礎

1 保護者対応における法的な留意事項

(1) 教育的思考と法的思考の相違

(2) 法的思考を踏まえた対応の必要性

(3) 毅然とした対応と寄り添う対応の問題点

2 仮想事例問題の検討

3 仮想事例問題の検討を踏まえた議論

4 その他

別紙

仮想事例検討

学校の状況

あなたは(T)はA中学校3年1組の担任教諭です。3年1組の生徒C、D、Eは同じグループで、いつも一緒に遊んでいました。

問題の発生

7月16日(火)、Cが学校を休んだため、Tが午前中にCの自宅に電話をかけて、Cの母親に事情を聴きました。母親は、「ちょっと体調が悪くて…」と言うだけで、はっきりとした理由を話しませんでした。Tは「お大事にしてください。放課後にまたお電話します。」とだけ話して電話を切りました。

午後3時30分ごろ、Tが教室にいと、職員室にいた同僚から、「Cの父親であるQが凄い剣幕で職員室に来ているので、すぐに来てほしい」と言われ、Tは職員室に駆け付けました。

Qとの面談(7月16日(火)午後3時30分)

Tが職員室に駆け付けたところ、Qは開口一番「お前はどの責任を取るのか」などと大きな声で怒鳴ってきました。Tは、その場で立ち話をするのは適切ではないと考え、**Qを応接室に通すことにしました。**

Qは、応接室に入ってくるなり、「DがCをいじめたせいで、Cが今朝から学校に行きたくないと言いつつ、Tは担任としてどの責任を取るのか。」と大きな声で怒鳴って机を叩きました。

Tはこれまで、DがCをいじめているところを見たことがありませんでした。7月15日(月)もCはいつも通り下校した様子でした。

TとQとの会話

①

Q:DがCをいじめただろ

T:いえいえ、そんなはずはありません

Q:うちのCが嘘を言っているというのか、教師が子どもの言うことを信じないのか

T:いや、そういう訳では…

Q:じゃあ何なんだよ、Dを庇っていじめを隠すのか、T先生の責任問題にもなる

T:あ、申し訳ありませんでした

Tが謝罪をしたことで、Qは満足した様子で少し声のトーンも落ち着いたものになりました。

②

Q:先生も大変だろうけど、Dが二度とうちのCをいじめないよう厳しく指導してほしい

T:いや、それは…

Q:さっき謝っただろうが、T先生は自分の言葉に責任も持てないのか

T:いえ、そんなことは…

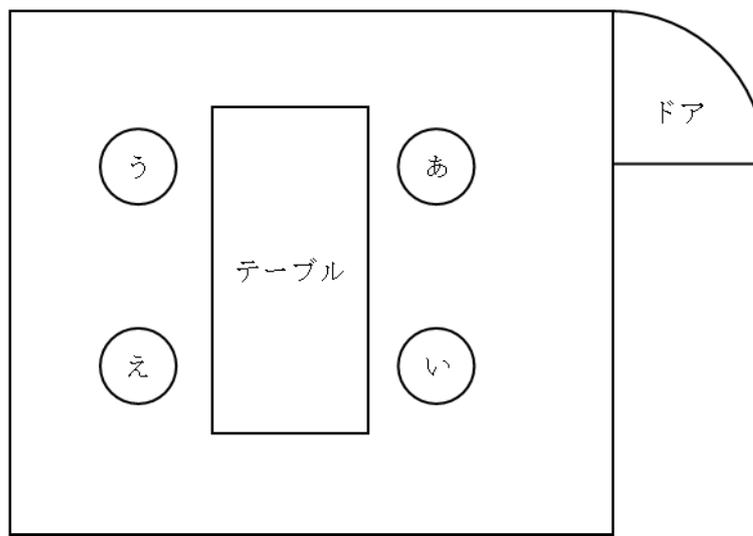
Q:じゃあ、きちんとCへのいじめに対応してくれますよね

T:…ええ…はい…

検討事項

1 職員室から応接室への移動

下記のような応接室の場合、「あ」～「え」の、どの位置にQを座らせ、Tはどの位置に座るべきか、その理由は、他に応接室への移動に際して、気を付けるべきことはあるか



2 いじめの申告があった場合の保護者対応

(1) ①でのTの対応は適切か、その理由は

(2) ②でのTの対応は適切か、その理由は